



交通安全だより

第58号 平成23年1月発行 札幌市交通安全運動推進委員会 Tel.211-2268

札幌市の交通安全 <http://www.city.sapporo.jp/kotsuanzen/>



新年あけましておめでとうございます。平成23年の新春を迎え、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、日ごろより、札幌市の交通安全運動の推進につきまして格別のご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

さて、平成22年の札幌市内における交通事故死者数は、昨年に比べて11人増加の36人となりました。

また、人身交通事故の発生件数は461件減の8,055件、傷者数は657人減の9,408人と5年連続の減少となり、傷者数については昭和62年以来23年ぶりに10,000人を下回りました。

当推進委員会といたしましても、これまで交通安全教育や各種の取り組みにより交通安全意識の啓発に努めて参りましたが、このような交通事故自体の減少という成果につきましては、関係団体や地域の交通安全活動への積極的な取り組みの結果によるものであると確信しております。

しかし、死者数は増加しており、都道府県別の死者数では、北海道は東京都と同数で全国ワーストワンという大変残念な結果となりました。

市民の皆様一人ひとりが交通事故を自らの問題として受けとめ、交通ルールの遵守と安全運転の励行に努めていただきますとともに、当推進委員会といたしましても、本年も安全で安心なまちづくりを目指し、交通安全意識を強く持っていただけるよう、全力を挙げて交通事故防止に取り組んで参りますので、なお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様の益々のご活躍とご健勝を心からお祈り申し上げます。

札幌市交通安全運動推進委員会 会長 上田 文雄

平成22年中の札幌市交通事故発生状況(概数)

死者数:36人(前年比+11人)

発生件数:8,055件(前年比-461件) 負傷者数:9,408人(前年比-657人)

【平成22年中の死亡事故の特徴(死者36人中)】

●人対車両が多い

類型別では、人対車両が21人(58%)で最も多く、次いで車両単独が6人(17%)となっている。

●前方不注意による事故が多い

第一当事者の違反別では、前方不注意が14人(39%)で最も多く、次いで最高速度が6人(17%)となっている。

●65歳以上の死者が多い

65歳以上の死者が19人(53%)で最も多く、このうち歩行中が16人(84%)となっている。

●30~40歳代の運転者によるものが多い

第一当事者の年齢別では40歳代の運転者が10人、次いで30歳代の運転者が9人で、30~40歳代の運転者が19人(53%)と多くなっている。

【区別死者数】

区	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	合計
死者数	4	6	4	5	3	2	2	4	3	3	36
前年比	1	-1	2	3	1	-2	2	1	1	3	11

【月別死者数】

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
死者数	0	1	5	2	3	1	5	7	2	3	4	3	36
前年比	-2	0	2	2	-1	-1	3	7	-2	-1	3	1	11